



Education Kumamoto

教育くまもと

教職員等記事
(平成15年4月導入)

No.42

熊本県教育委員会
平成19年9月発行



▲平成19年度全国高等学校総合体育大会 カヌー競技優勝(球磨工業高校)
(平成19年8月 佐賀県)

7 6 5 4 2 1 (上)
巻頭言
「特集」すべての子どもたちに読書のよろこびを
特別支援学校・特別支援学校における読書活動の取組み
11月1日は「くまもと教育の日」です
家族・地域のきずなを再生する国民運動
学力向上対策研修(公開授業等)を実施します
校務情報化の推進のために
県教委だより

県教委だより

ピカソ展 -20世紀最大の巨匠- ルートヴィッヒ美術館コレクション

美術の歴史に一大革命をもたらした巨匠パブロ・ピカソの業績を、ドイツ・ケルンのルートヴィッヒ美術館の収蔵品により紹介します。代表作「手を組んだアルルカン」など、油彩・水彩・素描・彫刻など約100点を展示し、底知れぬ天才の真実に迫ります。



パブロ・ピカソ《手を組んだアルルカン》
©2007-Succession Pablo Picasso-SPDA(JAPAN)

会期/10月13日(土)~11月25日(日)
休館日/10月22日、29日、11月12日の各月曜日 11月5日(月)は「障害のある方々の鑑賞デー」です
会場/熊本県立美術館本館 TEL096-352-2111 FAX096-326-1512
観覧料/一般1,200円、大学生700円、高校生以下無料 前売り券・団体料金有り
お問い合わせ/熊本県立美術館 TEL 096-352-2111 FAX 096-326-1512

第1回「わたしのまちの〇と×・熊本」環境フォトコンテスト



町の身近な風景の中で、環境について考えるため、第1回「わたしのまちの〇と×・熊本」環境フォトコンテストを行いました。熊本県からは、知事が発起人、教育長及び環境生活部長が実行委員となっています。来年度以降も引き続き開催予定です。



表彰式/期日:10月20日(土) 会場:熊本日日新聞社(熊本市世安町172)
作品展示/熊本県庁及びくまもと阪神において、展示予定(平成20年2月予定)

Event Information

菊少フェスティバル

施設を開放し、楽しい活動と交流を通して、少年自然の家への理解と利用促進を図るとともに、施設と地域の連携を深めていきます。

対象/児童・生徒・家族・地域住民等(定員100人)
期日/10月20日(土) 日帰り
会場/県立菊池少年自然の家
参加費/700円程度
申込方法/電話での申込み、抽選
申込期間/9月26日(水)~10月10日(水)
申込先/県立菊池少年自然の家
TEL.0968-27-0066

あし青少フェスティバル

くまもと教育の日関連事業として、地域の文化芸術や文化芸術を鑑賞したり、体験したりすることにより、地域文化への関心、理解を深めます。また、地元芦北町や津奈木町を味わうコーナーやあしきた青少年の家の活動を広く体験できるさまざまなコーナーを用意してあります。日帰りでの参加もできます。

期日/10月20日(土)~21日(日)
会場/県立あしきた青少年の家
参加費/1人1,500円及び食事代等の実費
申込方法/電話・FAX・ハガキ・E-mail
記入項目は、郵便番号・住所・参加者全員の氏名・年齢・電話番号
申込期間/9月1日(土)~10月6日(土)
申込先/県立あしきた青少年の家
TEL.0966-82-3092

緊急指令! いろいろな遊びを制覇せよ!! ~めざせ!遊びの鉄人~

昔の遊びや集団ゲームなど、自分で工夫したり他の人と協力したりする活動を行います。

対象/小学生、中学生 60人
期日/10月27日(土)~28日(日)
会場/県立天草青年の家
参加費/1人3,000円
申込方法/電話(午前9時から午後5時まで受付)
申込期間/10月14日(日)~20日(土)先着順
申込先/県立天草青年の家
TEL.0969-56-1650

遊ぼう!さわやかホリデー

家庭を離れて出会った仲間たちとの活動をおとして、遊びの楽しさを味わうとともに、自立心や社会性を身に付ける。

対象/小学校3年生以上と中学生の50人
期日/11月23日(金)~24日(土)1泊2日
会場/県立豊野少年自然の家及び近隣施設
参加費/3,000円程度
申込方法/電話(午前8時30分~午後5時30分まで受付)
申込期間/10月28日(日)~11月21日(水)先着順
申込先/県立豊野少年自然の家
TEL.0964-45-3855

県自作メディアコンクール ~出品作品募集のお知らせ~

社会教育や学校教育の場で広く活用できる自作映像作品のコンクールを行っています。

募集内容/ビデオ部門(15分以内)
マルチメディア部門(CD-ROM等)
募集期間/11月30日(金)まで
応募資格/県内に居住又は通勤している方(グループでの出品も可能です)
入賞/最優秀賞 各部門1作品(奨励金10万円)
優秀賞 各部門1作品(奨励金5万円)
お問合せ/県視聴覚教育連絡協議会(事務局:県生涯学習推進センター内)
TEL.096-355-4312

巻頭言



「表現者としての 楽しみを支援する」

熊本県子ども読書活動推進会議

会長 中本 環

本年度、熊本県では、文部科学省の委託を受けて、「ユニバーサルデザイン」の視点を踏まえた、すべての子どもたちのための読書活動推進支援事業を実施することとした。特別支援学校、公共図書館、病院等へのおはなしボランティア派遣が主な事業内容である。おはなし会、読み聞かせ、布の絵本を使ったおはなし会、手話をまじえたおはなし会等の実施のため、ボランティアを派遣する。

ところで、県では子どもたちの読書活動推進のための様々な方策を講じているが、ここではふれず、図書館のあり方に関し、次の二点について私の考えを述べたい。

一つは、子どもたちを表現者とする試みを、もっと取り入れるということである。

読書は理解する行為であって、読み取る、あるいは聞き取る、基本的には受け身の行為である。これも意義深いことであるが、表現者としてのよろこびをもっと取り入れたい。パフォーマ

ンスの場として、図書館をもっと活用したいのである。

自分たちの本を作る。布の絵本を作る。絵を飾る。花を飾る。感想文を掲示する。楽器の演奏会を開く。朗読会を開く。紙芝居会をする。読者として終始するのではなく、小さなことにおいてでも、表現者として図書館に入りするような方策を、もっと講じたのである。

二つめは、図書館を体験活動と無関係なままにしておかないということである。

サッカー大会のあと、選手や応援の生徒たちの感想文を掲示する、そしてサッカーボールをそこに飾る。植物園には植物の本など借りて持って行く。キャンプファイヤーの時は、星の詩集など持って行って、みんなで音読する。

体験に裏打ちされた読書がどんなに素晴らしいか。気づきの芽を養っておいきたい。

プロフィール/元熊本大学大学院教授。文学雑誌「町塾」を主宰。長年、一休や良寛などについて研究されており、平成16年からは、熊本県子ども読書活動推進会議会長に就任。